

# Stereo Sound

特集1 = CD/SACDからDSDファイルまで **ハイエンドデジタル**  
プレーヤー & DAC 27モデルの実力を聴く

特集2 = DIG 聴いて解く「注目機の魅力」 2015  
SESSIONS, LIVE! 特別編 菅原正二 meets 小野寺弘滋 AUTUMN

No. 196



アコースティックアーツのPLAYER ESが、USB入力の実装を図りマーク2化

CDプレーヤー

## 生楽器特有のヒューマンな味わいは本機ならではの美点

宮下博



「ハンドメイド・イン・ジャーマニー」らしい精巧な雰囲気醸すアコースティックアーツの製品群。その主要ライターの一角をなすCD再生機「PLAYER ES」が、USB入力の充実などでブラッシュアップされ、マーク2化された。USB経由でのデジタルファイル再生へのニーズが高まる時代の要請に応えた形だ。

この改良によりUSB2.0で192kHz/24ビット規格まで、アシンクロナス接続が可能となり、ハイレゾファイル向けの態勢が拡充された。それにとりも内部も見直され、データ上ではクロストーク値が初代の102dBから121dBに上がったり、歪率が改善されたりなどの性能向上がみられる。とはいえ、基本的な構造は先代を踏襲しており、トレイ下部の両脇を金属の丸い棒で補強して耐振性能を高めたメカニズム（ストリウム・アンリミテッド製）の搭載など、信頼度の高い設計は変わらない。全体の重量が初代の10kgから7kgにダウンしたのは、何らかの合理化による結果だろう。

まずCDで確認した音の素性は、やはり初代と同様、深い色合いや陰影の表現に秀でたヨーロッパ・サウンド。アンスネスが弾き振りをしたベートーヴェン「ピアノ協奏曲第2番（ソニー）」は、弦の粘りある質感や合奏の深い光沢が演奏の骨格を的確に示す。ピアノも、タッチの重さや明暗がしっかりと表われた。音場などは欲張らないが、音楽の内実をえぐる力は独特だ。

さて目玉のUSB入力は、専用のドライバをインストールしたウィンドウズPCを使って試聴した。優秀録音でオーディオファイルにもファンが多いジェイムス・テイラーの最新作『ピアノ・デイス・ワールド』（コンコード）は96kHz/24ビットのFLACファイル。

鮮度が高くダンピングの効いたサウンドがストリートに飛び出した。ただエッジは強調整えず、たまたまはあくまでナチュラル。年輪を映し出すヴォーカルの温かみや、フィドル、ハーモニカなどの生楽器特有のヒューマンな味わいは、このプレーヤーの優れた資質から由来する美点と聴けた。192kHz/24ビットのソースも同系で、スケ良く楽しませてくれた。

## アコースティックアーツ Player ES-MK2 ¥670,000

●アナログ出力:アンバランス1系統(RCA) ●デジタル出力:同軸1系統(RCA) ●デジタル入力:同軸1系統(RCA)、USB1系統(Bタイプ・~192kHz) ●寸法/重量:W482×H96×D370mm/7kg ●備考:バランス出力HOT=2番ピン ●問合せ先:株ハイ・ファイ・ジャパン ☎03(3288)5231



エボリューション50AがDACモジュールの装着でUSB入力に対応

## ハイレゾファイルの情報量をさらりと表わす実力は十分

宮下博

プリメインアンプ

英国のブランド、クリークのプリメインアンプ、エボリューション50Aは、同社のエントリークラスで中核機種として実績を重ねている。その実力派に今回、最新のDACモジュール「ルビーDAC」が用意され、デジタルファイル再生などへの対応が図られた。本体とセット販売されるモジュールはFMチューナーも内蔵し、コンパクトなオール・イン・ワン機となる。

DACのチップには、定評あるウォルフソンWM8742を採用。デジタル入力は同軸、光、USB、ブルートゥースの4系統が可能で、同軸と光は192kHz/24ビット規格まで受け付ける。アンプ本体の中身は変わらない。高い電流供給能力を持たせた、パワーアンプ部は55W×2(8Ω)、85W×2(4Ω)の出力を確保し、トランジスターを温度管理するセンサーを備えている。フォノ入力にはMM、MC型用に計3種類のフォノカードが用意されており、アナログ再生に対する手厚い配慮も、改めて特筆したい。

試聴室のリファレンス機（アキユフェ

イズDP900+DC901、B&W800ダイアモンド）についてアンプの素性を確認すると、適度な潤いを保つ耳あたりの良さが身上で、レンジの広さや情報量よりも英国流のジェントルなまじめ方に感心する。ここからまず、DP900の同軸デジタル出力を「ルビーDAC」に入れてみた。トレインチャのヴォーカルはまるやかだが、再生レンジは中域重視のカマボコ型特性が強まる。アンサネスのピアノも厚みやニュアンスこそ控えめになるが、無用な色づけのないニュートラルな聴きやすさが安心感につながる。

さらに、目玉のUSB入力でジェイムス・テイラーの最新作『ビフォア・デイス・ワールド』（96kHz/24ビット、FLAC）を聴いた。ヴォーカルの滋味やバンドの温かな雰囲気や素直な音色で提示し、はっとさせる分解能よりも堅実なまじめ方を優先させる方向だ。

ハイレゾファイルの情報量をさらりと表わす実力は十分な水準にある。アンプ本体の性格と併せて、組合せのマッチングを考えていきたい。

### クリーク Evolution 50A+Ruby DAC ¥284,000

●出力:55W+55W(8Ω)、85W+85W(4Ω) ●入力感度:410mV ●デジタル入力:同軸2系統(RCA)、光2系統(TOS)、USB1系統(Bタイプ・~96kHz) ●寸法/重量:W430×H60×D280mm/7.5kg ●備考:各種フォノカード(¥28,000~¥35,000)あり。バランス入力HOT=2番ピン ●問合せ先:株式会社ハイファイジャパン ☎03(3288)5231



Finest Music Components  
Hand made in Germany



## MONO II

ACCUSTIC ARTS リファレンスシリーズの新製品、モノラル・アンプとして設計

出力: 300W 8Ω ¥2,600,000/ペア/税別

hifijapan.co.jp / 03-3288-5231

# Creek

Simple is the best

Made in England



--- Creek Audioの創立者、マイク・クリークの、基本理念がここにあります。

## Evolution 50A

Evolution 50A 出力:55W 8Ω ¥149,000/ペア/税別  
Evolution 50A + Ambit Tuner ¥175,000/ペア/税別  
Evolution 50A + Ruby DAC ¥284,000/ペア/税別  
Evolution 50CD CD Player ¥189,000/ペア/税別

[www.hifijapan.co.jp](http://www.hifijapan.co.jp) / 03-3288-5231